

がん対策に新目標値

県が推進計画素案示す

県は14日、がん対策1度の素案を示した。や、運動習慣者の増加を総合的に進めるため、数値目標には75歳未満の年齢調整死亡率を現状（16年）比12人減の目標とする。また、がん対策推進計画（2018～23年）81・3人に減らすこと、推進協議会（会長・中

路重之弘前大学大学院 医学研究科社会医学講座教授の今年度2回目の会合で説明された。現行の第2期計画（13～17年度）を国の「がん対策推進基本計画」を踏まえ見直し。目標値では、新たに▽「がんの年齢調整罹患率」▽「運動習慣者の割合の増加」▽「がん登録等の推進に関する法律第19条に基づき市町村の割合」の三つの指標を新設。年齢調整罹患率は現状値（13年度）からの減少を目指す。運動習慣者の割合は20～64歳の男性40%、女性35%、65歳以上は男性52%、女性48%を目標とす。国のがん情報を活用した市町村割合は100%を目指す。素案は今後、意見公募などを経て来年2月までに最終案をまとめる。同日、発表される見込む。（中川修二）

路重之弘前大学大学院 医学研究科社会医学講座教授の今年度2回目の会合で説明された。現行の第2期計画（13～17年度）を国の「がん対策推進基本計画」を踏まえ見直し。目標値では、新たに▽「がんの年齢調整罹患率」▽「運動習慣者の割合の増加」▽「がん登録等の推進に関する法律第19条に基づき市町村の割合」の三つの指標を新設。年齢調整罹患率は現状値（13年度）からの